

平成17年9月26日

各位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証1部)
問合せ先 人事総務本部総務部長
石川 正昭
(TEL. 03-5252-3261)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代表者 執行役社長 庄山 悦彦

業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年9月中間期(平成17年4月1日～平成17年9月30日)および平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の連結業績予想について、平成17年7月27日の「第1四半期の業績の概況(連結)」発表時に公表しました予想値を、下記のとおり修正いたします。

なお、配当予想につきましては、7月27日に公表しましたとおり、中間期・期末とも1株当たり3.50円(年間では1株当たり7円)を予定しており、変更はありません。

記

1. 平成17年9月中間期業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(1) 連結

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年7月27日発表)	百万円	188,000	6,000	2,200
今回修正予想(B)	百万円	188,000	3,400	1,200
増減額(B)－(A)	百万円	－	△2,600	△1,000
増減率	%	－	△43.3	△45.5
(ご参考)前年中間期実績 平成16年9月中間期	百万円	188,671	5,218	2,337

(2) 個別

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年7月27日発表)	百万円	120,000	3,000	1,300
今回修正予想(B)	百万円	120,000	2,000	1,500
増減額(B)－(A)	百万円	－	△1,000	200
増減率	%	－	△33.3	15.4
(ご参考)前期実績 平成16年9月中間期	百万円	125,926	3,087	1,238

2. 平成18年3月期業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（1）連結

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年7月27日発表)	百万円	390,000	17,500	7,600
今回修正予想(B)	百万円	395,000	12,000	5,400
増減額(B)－(A)	百万円	5,000	△5,500	△2,200
増減率	%	1.3	△31.4	△28.9
(ご参考)前期実績 平成17年3月期	百万円	386,909	10,740	4,991

（2）個別

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年7月27日発表)	百万円	252,000	9,000	3,800
今回修正予想(B)	百万円	255,000	7,000	3,300
増減額(B)－(A)	百万円	3,000	△2,000	△500
増減率	%	1.2	△22.2	△13.2
(ご参考)前期実績 平成17年3月期	百万円	258,367	4,996	3,520

3. 業績予想修正の理由

当社の平成18年3月期の連結及び個別の売上高は、中間期、通期とも当初予想の水準を確保できる見込みであります。

しかし、昨年から上昇を続けていた銅価及び石油関連製品価格が今期に入りさらに急騰し、これを製品価格で吸収しきれないことや、半導体及びデジタル関連分野の需要回復が想定よりも遅れ、また、情報ネットワーク部門の受注及び売上計上が想定よりも後ろ倒しになったこと等により、連結及び個別の経常利益は、中間期・通期とも当初予想を下回ることが避けられない見通しとなりました。これにともない当期純利益の予想を見直いたしました。

以 上

（注記）

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提及び仮定に基づき計算しており、実際の業績等は見通しの数値と異なることがあります。

その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・ 主要市場（特に日本、米国、アジア）における経済状況
- ・ 急激な技術変化
- ・ 新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及びグループ会社の能力
- ・ 製品市場、製品市況の変動
- ・ 為替相場の変動
- ・ 資金調達環境の変動
- ・ 製品需給、製品市況及び為替相場等の変動に対応する当社及びグループ会社の能力
- ・ 自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・ 製品開発等における他社との提携関係
- ・ 日本の株式相場変動